

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成24年7月)

～気温の上昇に伴い現状判断は3か月ぶりに上昇～

- 景気ウォッチャー調査・7月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が3ヶ月ぶりに上昇した一方、先行き判断は2ヶ月ぶりの低下となった。
- 現状判断は、7月中旬以降に気温が急上昇し、季節商材の売行きが好調となったことが全体を押し上げにつながったとみられる。ただし、夏物のクリアランスセールを遅らせたことで、百貨店の一部で客足の減少がみられるほか、消費税率の引上げや今夏の電力不足が引き続き消費マインドの悪化要因となるなど、全体として厳しい状況に変わりはないとみられる。
- 一方、先行きについては、今年も残暑が厳しくなるとの予報から、秋物商戦への影響が懸念されているほか、エコカー補助金の終了による自動車の販売減少、欧州の財政問題に対する不安など、依然として明るい材料がほとんどみられない状態である。消費税率の引上げについては、住宅関連で駆け込み需要を期待する声が出始めているものの、全体としては消費マインドへの悪影響を懸念する声の方が多い。
- なお、ロンドンオリンピックが開幕して連日熱戦が続いているが、現状判断での言及は極めて少ないなど、今月の景気への影響は非常に限定的とみられる。競技の大半は8月に入ってからであり、先行きへの期待は多少みられるものの、全体的には決して高いといえない状況である。

◎「気温上昇、猛暑」関連のコメント(現状判断)

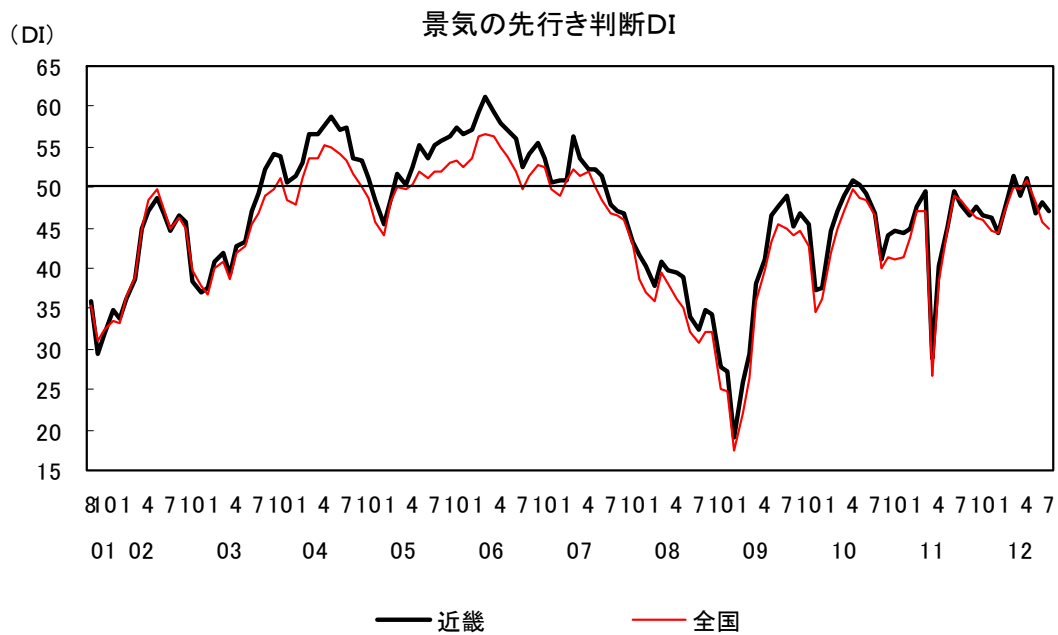
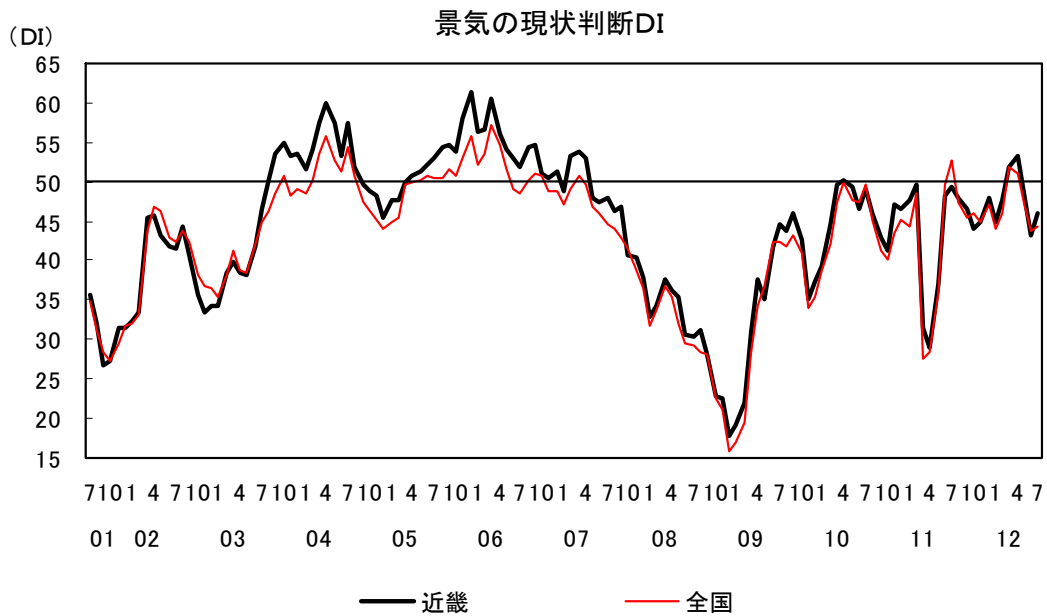
家計関連 変わらない	スーパー(店長)	・前半は天候、気温共に不安定で季節商材を中心に動きが鈍く、苦戦傾向が続いたが、後半は梅雨明けを機に季節商材の動きが活発化し、回復傾向となっている。
	スーパー(社員)	・今月になって、気温上昇と共に扇風機や寝具、肌着、飲料などの夏物の動きは例年以上に活発となっている。特に、売出し時の客の購入量は以前より増えたと感じる。
	コンビニ(経営者)	・気温が35度以上と暑く、飲料水を買う客が多くなり、来客数が前年比で4%増となっている。一方、気候のせいか分からないが、たばこの売上は前年比で2%落ちている。
	その他専門店[医薬品](経営者)	・特に7月の下旬から、暑い日が続いている。そのため冷却材の動きが活発である。特に、頭や首、手足を冷やす商品や、寝る時に体を冷やすジェルシート、スポーツ飲料などの動きが良い。
	高級レストラン(スタッフ)	・急激に猛暑となったことで、ディナーに限らず、ランチタイムにもビールの売上が伸びている。
	商店街(代表者)	・猛暑につき来店頻度が少なくなっている。
	スーパー(広報担当)	・前月後半から今月前半にかけては、昨年との気温差が大きく、季節商材の不振により厳しい状況であった。月後半からは梅雨明けにより、ようやく夏物の動きが活発になっているほか、昨年の地上デジタル放送の特需による反動減も解消に向かうため、売上水準は回復傾向にある。ただし、必需品を中心とした節約志向は依然強く感じられる。
	コンビニ(経営者)	・中旬までは相変わらず客単価が低調なまま推移していたが、梅雨明け以降の猛暑によりドリンクや冷菓類の売上が急増している。
	乗用車販売店(営業担当)	・気温の上昇のせいか、来客数が激減している。販売台数も前年よりも少ない。
	その他飲食[コーヒーショップ](店長)	・梅雨明けまでの平均気温が前年を下回り、冷たい飲料の販売量が伸び悩んでいる。平均気温が前年を3度下回っていたため、来客数は3%減っている。
タクシー運転手	・前年比で2割以上の増収となったが、季節的要因や猛暑によるものである。例年の厳寒期と同様に、一時的な増収傾向にあるだけで、景気の動向とは無関係である。	
タクシー運転手	・昼間は暑かったり雨が降ったりで利用がみられるが、夜は無線状況や街の動きをみている、良くない状態が続いている。	
タクシー運転手	・お盆前であるほか、厳しい暑さや強烈な雨が降り、そういった面で恩恵を受ける企業が伸びている。	
テーマパーク(職員)	・今年も猛暑になりそうな雰囲気があるほか、やはり節電の影響からか、来客数の伸びに勢いがあまり感じられない。	

家計関連	やや悪くなっている	百貨店（マネージャー）	・前年好調であった冷感素材の商品群の動きが芳しくない。気温が上昇して回復傾向にはあるが、単価のダウンもあり、売上を大きくけん引できそうにない。また、高額品についても美術品や高級時計に動きがみられるものの、全体を底上げするまでには至っていない。
		スーパー（店長）	・昨年は東日本大震災の特需があったため、今月はその反動減が出ている。節電、猛暑対策グッズで穴埋めを図りたいが、出足は良くない。ギフトも年々縮小傾向で、更なる企画が必要となっているが、追いついていない。
		衣料品専門店（経営者）	・月の前半は前年並みの来客数であったが、梅雨明け後の酷暑の関係で来客数が落ち込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	・7月は雨が多いほか、雨が上がると暑くなるため、人の動きは非常に悪い。
企業取引関連	変わらない	一般小売店〔花〕（店長）	・この暑さで日中の客足の伸びが悪い。夕方からは好調であるが、1日当たりでは確実に減っている。
		食料品製造業（営業担当）	・気温の上昇と共に飲料水の販売が増加しているが、増収減益の状況である。今月は前年比で雨天がやや多いこともあり、受注量を増やすために他社との価格競争が増えていることが原因である。
企業取引関連	変わらない	コピーサービス業（店長）	・以前に比べて大きな変化が感じられない。うちの印刷や暑中見舞いの印刷の受注も順調に伸びているが、来客数の微減等のマイナス要素も多く、不安定さを感じる。

◎「クリアランスセール」関連のコメント(現状判断)

家計関連	やや良くなっている	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・セールでは店舗間の格差はあるが、微増といえ前年比では増えている。特に、今月に限っては単価の上昇が全体的な傾向としてみられる。
		百貨店（企画担当）	・今月はクリアランスセールの日程が変わり、最終的に販売日数が減ったことによる売上の不振が、全体の不調となっている。しかし、2度の立ち上げでは客の反応が良く、購入意欲が感じられる。
	変わらない	百貨店（商品担当）	・セールの時期がずれ込んでいたために、月初は苦戦したが最終的にはほぼ取り戻せた。また、貴金属など高額品の売行きが順調である。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・本格的な夏に入り、衣料販売業にとってはとても厳しい季節となった。節電商品の動きも悪い。セールでは少し動きがあったが、例年に比べると悪く、景気が上向いているとはとても思えない。
		百貨店（売場主任）	・7月はファッション部門でクリアランスセールのスタートが後ずれし、分散化したため、客には分かりにくい展開となり、セール全体の盛り上がりには欠けた。その結果、入店数、売上共に例年を下回る結果となっている。ただし、消費意欲を喚起する内容があれば買う意欲は感じられる。
		百貨店（サービス担当）	・今月は計画停電の不安や節電など、消費を促すような話題が少なく、来客数が前年よりも5%ほど減少しているが、夏のクリアランスバーゲンの売上は好調に推移している。しかし、お中元ギフトは前年実績の確保が難しい状況である。
		百貨店（売場主任）	・大手ファッションメーカーと百貨店との取組による一部クリアランスセールの後ろ倒し策は、月を通して一定の効果があったものの、例年の集中的な売上の総額を上回ることはできていない。
		百貨店（売場主任）	・当月はクリアランスセールの日程が例年と異なり、客の動きが分散されたほか、月前半や前年に好調であった盛夏商材の不振が影響し、目標は達成不可能な状況である。また、商品の価格が下がるまで購入を控え、不要不急の商品は購入に慎重になるといふ、客の従来の姿勢が一層鮮明となっている。
		百貨店（企画担当）	・夏のクリアランスのスタートが分散化し、売上も減少している。
		百貨店（販促担当）	・セールの日程変更により、購買のピークが分散している。スタートを遅らせたブランドではセール前の定価品の動きも鈍く、ピークを低くしたことが購買意欲をそいでいる感がある。セール時期にも増して重要なのは気候であり、後半はようやく夏らしい気候になり、少し動きが出始めたものの、単価の低下により売上が増加するには至らない。
企業取引関連	やや良	広告代理店（営業担当）	・各施設の夏のセール時期が分散化しているため、好不調が分かれている。関西では足並みがそろうことは難しいのか、やはり早めに仕掛けた店が好調である。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 10												年 11												年 12											
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7											
現状判断	近畿	49.1	46.1	42.8	41.2	47.0	46.7	47.8	49.6	31.5	28.9	37.2	48.2	49.3	48.1	46.5	44.1	44.9	48.0	44.8	47.6	52.0	53.3	48.2	43.2	45.9											
	(全国)	49.8	45.1	41.2	40.2	43.6	45.1	44.3	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2											
先行き判断	近畿	46.8	41.2	44.2	44.5	44.3	45.0	47.6	49.5	28.8	40.2	45.2	49.4	48.0	46.4	47.5	46.6	46.3	44.4	47.3	51.3	49.1	51.2	46.9	48.1	47.0											
	(全国)	46.6	40.0	41.4	41.1	41.4	43.9	47.2	47.2	26.6	38.4	44.9	49.0	48.5	47.1	46.4	45.9	44.7	44.4	47.1	50.1	49.7	50.9	48.1	45.7	44.9											